

ねえ、
人生って
どう？

再犯のない未来へ

法務省矯正局

刑務所や少年院・少年鑑別所ってなんのためにあるのでしょうか。

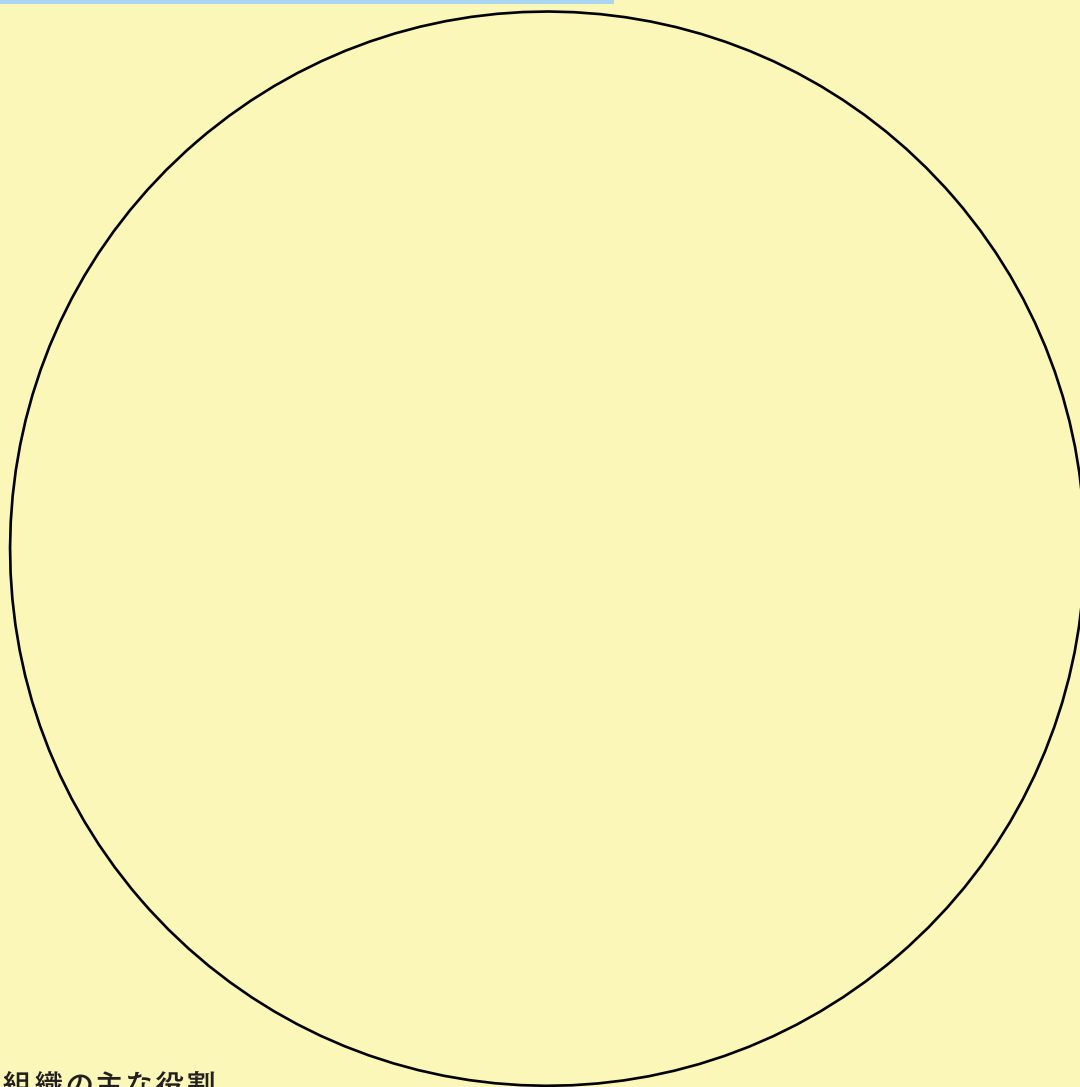
「罪を反省させ、償わせるため」だけでは、50点。

残りの50点は「きちんと社会に復帰させることで再犯を抑止する」こと。

一人ひとりの出所・出院後をきちんと見据え、

一人で食べていけるように、もう道を間違えないように、

教え、育てることもまた、私たちの重要な務めです。



それぞれの組織の主な役割

少年鑑別所

対象 家庭裁判所において審判を受ける
前の少年など

法務教官

- 面接や行動観察の実施
- 審判や指導に向けた資料作成

矯正心理専門職

- 面接や各種心理検査
- 非行要因の分析
- 処遇上の指針作成

少年院

対象 家庭裁判所にて健全な社会復帰
のための矯正教育が必要と判断さ
れた少年

法務教官

- 生活指導・職業指導等の矯正教育
- 社会復帰支援

矯正心理専門職

- 矯正教育の計画作成
- 各種プログラムの実施
- 処遇効果の検証

刑務所など

対象 刑事裁判において懲役刑の判決
を受けた人など

刑務官

- 保安警備
- 改善指導・教科指導

矯正心理専門職

- カウンセリングや心理アセスメント
- 改善指導プログラムの実施

法務教官

- 受刑者の矯正処遇(教育関係)

私たちは、罪を背負った人たちから、先生と呼ばれることがあります。「もう一度ちゃんと、自分の人生を生きしてみようかな…」そんな気持ちを彼らの中から引き出すことが、私たちの仕事です。彼らが罪と向き合うことができれば、彼らの未来は変えられる。今までの人生やこれからの人生の中に、教えられることがたくさんあります。

ねえ、 人生って どう？

人って意外と優しいってこと。働くって意外と気持ちいいってこと。人生って意外と捨てたもんじゃないってこと。言葉で、行動で、生き様で、表情で、どうか伝えてあげてください。目指すのは、彼らが二度と塀の中に戻ってこない完全なる社会復帰。一緒に働いてみませんか。この国から「再犯」がなくなるその日まで。

犯罪原因を突き止めて 対策を練る 「更生プランナー」

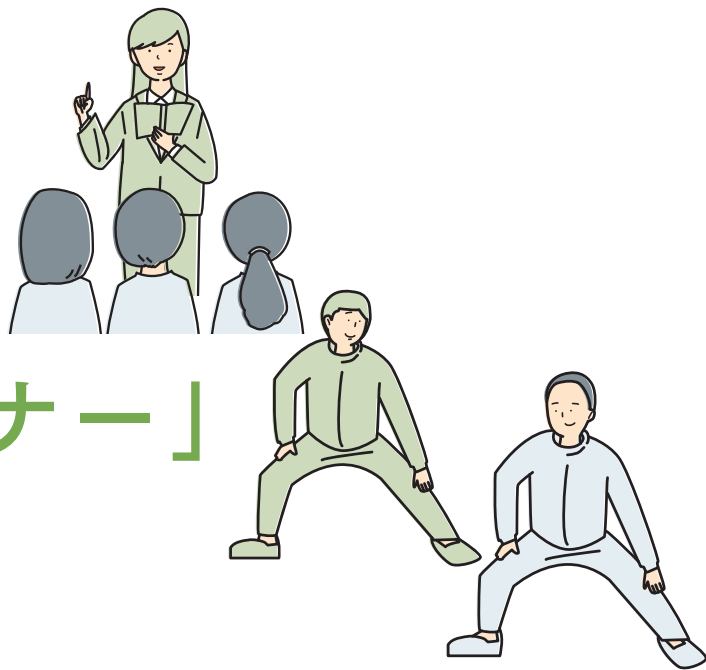
▶ 矯正心理専門職



なぜ罪を犯してしまったのか。なぜ非行に走ったのか。その原因を特定し、実行できる対処方法を考えることができなければ再犯を防ぐことは困難です。矯正心理専門職は犯罪心理のスペシャリスト。問題を見極めて適切なプログラムを処方して、更生にコミットするのが仕事です。カウ

セリングや面接で言葉として引き出せる情報には限りがあります。彼らの抱えている言葉にならない思いや生きづらさに寄り添ってはじめて、見えてくるものがあります。大きな感情をしっかりと受け止めてあげてください。先生に話せてよかったと言われることが一番のやりがいです。

非行少年たちと 共に悩む 「更生へのパートナー」



▶ 法務教官

とにかくなんでも教えます。生活指導や犯罪・非行防止についての指導や被害者について考えさせることはもちろんですが、国語や数学などの教科指導も、溶接や野菜栽培などの職業指導も、すべて法務教官の仕事です。日記にコメントしたり、夜中に寮を見回したりと、さながら全寮制学校の先生のようなのですが、一筋縄ではいかない

非行少年たちばかりが相手なので情熱と根気は必要不可欠です。将来に対して投げやりになっている少年たちを頭ごなしに否定せず、心の声まで聞きとることで信頼関係を築いていってください。生きる希望を持って笑顔で出院していく姿を見送る際には教え子の卒業式のような喜びが味わえるはずですよ。

時間をかけて

受刑者の人生と向き合う

「気付きのプロ」



▶ 刑務官

受刑者と日常的に接し、被害者への気持ちや更生の意欲を持たせることができる唯一の存在が刑務官です。一年弱で出院を迎える少年院とは異なり、何年もかけて受刑者の一人ひとりの人生と向き合っていきます。年齢の高い人、外国人、障害を持った人など、様々な人がいます。それぞれの事情を抱えて様々な境遇の人生を歩んできた

彼らの耳に、綺麗事は届きません。大切なのは一人の人間として、身を持って手本を示すこと。人に厳しく、自分にはもっと厳しく。常に凜とした姿で在り続けてください。受刑者との関係性の変化は、受刑者の心境の変化であり、更生への第一歩。時計の短針のようなわずかな変化に気付けたとき、心の中でガッツポーズをするんです。

紹介した3職種のほかにも、矯正局では様々な役割の職員が連携して業務に取り組んでいます。

国際専門官

外国人として特別な処遇が必要な被收容者の気持ちを汲み取りながら、処遇についての翻訳・通訳や、調査・関係機関との連絡調整を行います。

福祉専門官

高齢・障害などによって自立が難しい被收容者に対して、福祉的支援をします。

作業専門官

受刑者が取り組む刑務作業の指導を担当します。

矯正心理専門職

法務教官

刑務官

修学支援専門官

被收容者の修学支援をします。

就労支援専門官

被收容者の就労支援をします。

医師、薬剤師、看護師等

被收容者の保健衛生や健康を医療の面から支えています。

ココが気になる “矯正”のお仕事

気になる質問に、
現場の職員が
本音で答えました

あなたの不安は
「頼れる仲間」が
払しょくします。



私たちの仕事は「怖そう」「危険そう」というイメージを抱かれがち。確かに、もしあなたが「未熟な状態で」「一人で」現場に入るなら、怖いと思います。危ないと思います。でも私たちの仕事は一人で抱えるものではなく、仲間との連携や組織での対応が求められるもの。最大限の成果を出すためにはチームで互いに情報を共有し、フォローし合うことが必要不可欠です。だからこそ、あなたが一人前になるまで責任をもって育てることもチームにとってとても重要なミッション。頼れる仲間に囲まれて実力を付けていくうちに、緊張感と度胸を両立できるようになるはずですよ。

重苦しい職場？
とんでもありません。



お堅い仕事なので勘違いされやすいのですが、実はみんなイベントごとが大好き。ワイワイ楽しく息抜きをしています。例えば、施設対抗のスポーツ大会、様々な部活動(中には綱引き部などユニークなものもあり!)、官舎でのバーベキューなど、楽しめる場が盛りだくさん。仕事のやりがいを共有できる仲間同士だからこそ、話はずむし、刺激を受けられるというもの。リフレッシュの場としてぜひ大いに活用してください。

待遇面のメリットは
「プロとしての責任」の
対価です。



犯罪や、それに至る心理は時代や社会と共に変化していくため、私たちは常にアップデートを怠らずに自己研鑽を続けなければなりません。あなたになって欲しいのは、いろいろな専門知識やスキルを身につけた、代わりのいないプロフェッショナル。それに見合う待遇面のメリットとして次のようなものがあります。

ポイント

- ・公安職は一般的な事務職よりも基本給が高く、手当も充実
- ・職場近くの官舎なら家賃がかかりません
- ・幹部候補になるための研修を修了すれば総合職と同様に昇進ができ、採用の枠にとらわれない幅広い勤務も可能

